

「創立二十五周年記念吟道大会」開催

東日本大震災で諸行事の中止が続くなか、実行委員会は東北の被災者への思いを込め応援しようとの開催決定。十月十六日お茶の水の全通労働会館で「先輩よ！ありがとう」のスピーチが、開催されました。会場には超人的な高年齢者も含まれた多数の登壇者が、張りだす実業家の元、当日を迎えました。横山岳精家元、横山精真宗家、滝田幹事長、渡指導本部長、佐々木穂相談役、杉山精英武蔵岳精会会長、林精郷、玉岳精会会長の諸先生を来賓としてお迎えし、近隣会・支部の賛助出演を含め総勢二九〇名の参加でした。式典で先輩方への感謝状贈呈及び「吟友の輪」功労者が表彰されました。構成吟「日本人のこころ」は映像と合わせ感銘深く、男子四二名、女子三四名の新会員合吟は圧巻でした。当日も裏方として汗を流したスタッフの皆さん有難う、ご苦労さまでした。

二十五周年記念吟道大会に参加して
ハザマ 加藤 虎風

十月十六日、約三百人の吟友の心を一つにした吟礼の厳粛な雰囲気の中で、二十五周年記念吟道大会が開催されました。何故か、戦時中詩吟は国威高揚に資するものとして、奨励されてきたことに、感銘を覚え緊張感と共に血潮が滾りました。私事ですが、平成十一年五月千代田岳精会ハザマ教場の門を叩き、当時の飯田会長、鈴木教場長に一方ならずの

ご指導を受け、早や十四年の歳月が過ぎました。現在は萩原教場、石田・犬飼副教場、中でも鈴木会長は十四年間勤め、大大会開催の際、関係各位の用意周到且つ甚大なるご配慮とご努力により、楽しい大会となりました。衷心よりお礼申し上げます。見事な感心の大感謝です。運営もより立派で、担ぐ人も凛々しく力強い。何れも支えてくれる人も一糸乱れぬ統一の伝えた素晴らしいものでも、増え、この後の会の隆盛・安泰間違いなく有意義に過ごさせて頂きました。当日は楽しく有意義

創立二十五周年記念吟道大会
新宿 坂下 光夫

千代田岳精会創立二十五周年大会に、舞台総括グループレッパの舞台担当として、高橋辰風、犬飼堯山先生のもと、森山仙泉（音響）犬飼勇泉（照明）両氏と共に運営に参加いたしました。私は昨年六月の入会以来、全員の新人であり、このようになされたが、諸先輩の温かい指導と、森山、犬飼両氏の担当を越えたいと、援助の方々の協力により、何とか無事に終わらせました。皆様本当に有難うございました。

舞台での吟詠は、教場合吟で「汪倫を送る」を先輩方に負けないよう大声をあげて吟じました。また新会員合吟の「桑乾を度る」では、先輩方を差し置いて先導という大役を仰せ付けられ、汗顔の出だしの「か」の音が弱いとお叱りを受けてしまいました。その点がお叱りを受けたが、皆が頑張ったので、無事終了した。ありがとうございました。感謝です。

先輩方の暖かい心遣い
調布 加藤 榮子

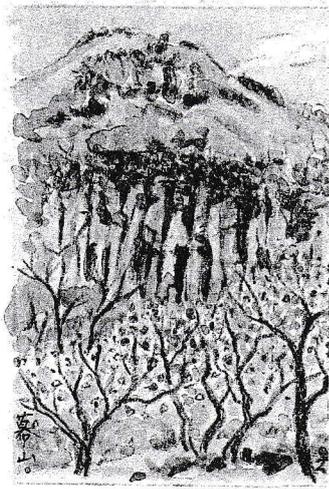
入会して一年五か月の私が、大会で新会員合吟「夜墨水を下る」の先導を務めさせて頂きました。お陰で感謝申し上げます。皆様のおかげで、諸先輩の皆様の役割を察したか、上げます。私にこの場を察したか、今と心配し、新しい場を察したか、今しか出来ないという面は二度無かったです。私を吟の道に導いてくれた村林さん、の言葉に、確かに導いてくれた村林さん、を「先輩方」と呼んで納めさせて頂きました。田村さん、また、先輩方にお礼申し上げます。指導員で「ここだけ命よ！あとは皆さん」とも、畔「こころが楽になり、先生は席を立てても、気が持たせ始めると、先生は席を立て、当日は腕を振り引くと、先生は席を立て、本当に感激致しました。張って下り、ち後方から感懐致しました。私には飽きること、会から閉会まで、私には飽きること、はなから夫々の接し方も、頑張りたく思いました。

してコミュニケーションを図り、楽しく語り合える雰囲気作りを、そして吟友の輪を広げて行きたいと思ひます。

準師範に合格して

新宿副教場長 上村 芳山

平成十五年八月に入会して、もう八年も過ぎてしまいました。先生方の素敵な指導で、つい長居して今日に至ったわけです。神田教場林先生、新宿教場橋本・酒井先生の熱気に導かれ和氣藹々、吟じてきました。新氣の宿の人達は皆さんインテリで知識の塊の方が多く、熱気に溢れ向上心もあつて、新しい人も出上りがあつて、場でも、新しい人も出上りがあつて、います。男性、女性バランスの良い教室が新宿教場だと思ひます。大變、あと何年続か判りません。熱をいれすぎず、体調を整えてこれから参加していきたいと思ひます。明く和を大切にしたいと思ひます。達と仲良く過ごせたら幸せです。



星野 久風 (清水)

年男。年女

今年の干支は壬辰です

吟縁感謝

常任顧問 磯田 精信

「行く末は天に委せて初暦」明けましてお目出度うございます。私ごと、お陰様をもちまして八回目の年男を健康で迎える事ができました。これも偏に吟のお陰と感謝しております。吟縁感謝「吟友有難う！」「行く間がある。語る仲間があり、吟ずる仲間がある。これが私の活力です。吟ずる仲間。今年も何卒よろしくお願ひします。また、昨年五月には結婚六十周年（ダイヤモンド婚）を迎え、家内俱々記念のお祝いをする事が出来ました。家内は認知症傾向ですが、健康で楽しく日々を送っております。健康で楽しく日々を送って、千代田岳精会も愈々三十周年に向かっ、早期達成を目標し「吟楽！」「吟楽！」皆様の健康を祈念します。

辰年生誕八回をむかえて
逗葉分室長 大槻 銜風

私は昭和三年元旦に生まれました。昭和時代は、省みると昭和廿八年迄の少和時代は、戦争にあけ暮れた国策による年時代は、戦争の時代であつた。戦利ある時代に苦難の時代であつた。戦利と化して、人類初の原子爆弾で広島、長崎は壊滅、海外に転じた日本軍は空しく破れ退つた。有史以来の悲惨極まる日本国民にとつて有史以来の悲惨極まる

もの出来、私にとつても決して忘れる事がない。一方、その後の四十年は、日本にとつて見事な復興を成し遂げた。世界第二の経済大国にのし上がったのである。この間は、私一杯働いて、その努力が報われた事に満足している。この様な私にとつての昭和は、先づ社会環境で身を処して来たのであり、それを誠に幸せな事と思ひ、一生を送る事をここで平成の今を見て思う。現在東北は千年に一度という大震災によつて、津波と原発事故による大災害を惹起し、官民あげて復興中である。無情なる哉、大自然の鉄槌。加えて、TPP、少子高齢化、千兆円の財政赤字、度々、前途は極めて多難なり、傑出したリ、ダ！よ現れよ。西郷さん、吉田さんのよう先見の明のある胆力の据わつた人が必ずいる筈だ。ある胆力のなく、自存、自立の精神で敢て消費税を受容して、今の負の遺産を吹き飛ばそうぞ。

残軀天処許

不楽復如何
東陽町 渋谷 辰風

今年、八回目の年男を迎えました。これは、国の為、に、今、お馬鹿な思ひが、決まらなかつた。これは、誠にも運命、此処迄生きて

田先生その他吟の仲間の皆様には感謝
致したいと思ひます。毎週木曜日の教
場と月一回のコンダクタ―教室が楽し
みな今日この頃です。

辰年の新年

鎌ヶ谷 柏崎 秀泉

新年明けまして お目出とうござい
ます。旧年中は、公私、共々大変お世話に
なりました。昨年は色々ありました。入
用事が重なり体調を崩してしまいました。
院となつて迷惑をかけました。折は皆
様に大変ご迷惑をかけた。その折は皆
今は、体調もすつかり元に戻りました。
通つてお楽しみ痛感してあります。幸
せをしみじみ痛感してあります。皆様と
詩吟を吟じられることが一番の楽しみ
です。また詩吟の発表会、ボランティ
アの公演も楽しみのひとつです。無理
をしなくて自分のペースで長く詩吟
に取組んでいきたいと思つています。
今年も宜しくお願ひいたします。詩吟
皆様の健康とご多幸をお祈り申し上
げます。

年男にあたって思う

清水 大木 栄山

私は、一九二八年五月生れの辰年で、
今年も年男になって、その感想を聞か
れたい。明確な返事も出来なく、お
りませんが、昔を振り返つて、お
あまたの頃、生れ年干支にまつて、
子供の頃、生れ年干支にまつて、
心が強かつたのかもしれない。辰
親の教育だったのかもしれない。辰

年だから特別な性格、知能があるはず
も無い。この年男は、思ひの外、
優れな気がする。思ひの外、
よくも、自分には、年男の初詣に
生きたけな記憶がない。心な
お参りした。記憶がない。心な
早く亡くなり、母が私にかけ
そのように原稿を書いた。ゆ
様々。承知の通り。酒が好
私には、酒の通い。酒が好
父が酒飲みの。肝臓を悪く
まかつた。その肝臓を悪く
聞かされた。その肝臓を悪く
は無かつた。その肝臓を悪く
は平成十六年。その肝臓を悪く
頂平成十六年。その肝臓を悪く
宜しく。大變。その肝臓を悪く

七回目の年男を迎えて

丸の内第二 蒐場 一泉

今年、年男を迎え、実に光陰矢の如
し。この年男は、西のわが時間、
の。だ。と。いう。西洋のわが時間、
せ。さら。れ。ます。西のわが時間、
や。四。年。八。月。が。過。ぎ。ま。し。た。
今。ま。で。八。月。が。過。ぎ。ま。し。た。
方。分。が。あ。る。事。に。感。謝。を。申。し。上。げ。ま。す。
自。分。が。あ。る。事。に。感。謝。を。申。し。上。げ。ま。す。
帰。り。年。次。記。五。項。目。を。肝。心。に。
ん。で。い。き。たい。音。程。

一、正しいアクセント
一、礼節をわきまえた態度
一、詩吟を人生の友として、吟縁を大切
に、し、真・善・美の精神を忘れる
事なく、自己の研鑽と、吟力の向上に
邁進して、ご指導の程、宜しくお願
いします。



辰年男の呟き！情報化社会
逗葉 鈴木 秀雄

廿一世紀は情報化社会と言われている
ます。技術の高度化に伴い、情報が諸資
源と同等の価値を有し、情報を中心と
して機能する社会へと変貌しつつあり
ます。私達はこの進行形の社会の真只
中にいて、誰もが各々の状況で乗り
遅れまいと頑張っている状況ではない
かと、思っています。一般世帯にもイン
ットが急速に普及しています。世界中
に張り巡らされた誰もが情報を利用し
つ、迅速に授受出来るのです。電車内
に見渡せば、携帯電話の操作に夢中な
て、いる人が何と多いことか。少し前
本、新聞、雑誌、紙に書かれた物を
んで、打つた。雑誌、紙に書かれた物を
を、打つた。雑誌、紙に書かれた物を
と、二〇一〇年末の総務省の調査結果

くして開いた廣田さんに、桜ヶ丘に分室を開設したら、入会してと前々から言われていました。去年十二月に分室が思われていました。去年十二月に分室が出来、早速、好奇心とストレス発散の場として入会させて頂きました。月二回の練習日には、休まないような心がけ練習してききました。職業柄大きな声を出さないでと言われたりしますが、教室では、もっと大きな声を出すと指導を受け、そのギャップから、なかなか大きな声を出すことが出来ませんでした。後、この一年、今年還暦を迎え、自分のこれからの楽しみながら、数年の自分と向き合いたい。詩吟修得に精進したいと思えます。諸先生、諸先輩、吟友の皆様に感謝し、諸先生、諸先輩、吟指導の程宜しくお願いします。

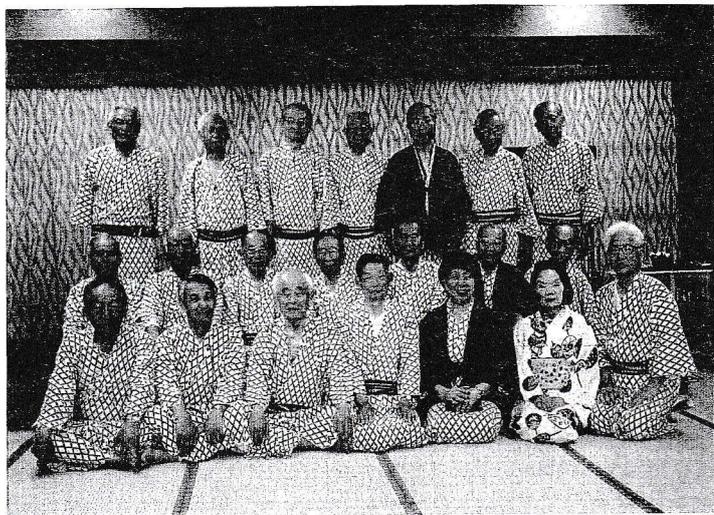
〈教場だより〉

佐原・潮来方面吟行会

清水 星野 久風

平成八年十月一日に清水教場が開設された。記念の吟行会が佐原・潮来方面へ、の磯田常任顧問、鈴木会長、太田草の磯田常任顧問、鈴木会長、太田草トの磯田常任顧問、鈴木会長、太田草加分室長の顔も見え、八時半貸切バスで東関自動車道を通り香取神宮へ。向かかった。歴史保存建物群・山車会館等を見学したあと昼食、午後は利根川

河川敷緑地で全員による潮来の夕(角光嘯堂)の合吟。横利根川から佐原水生博覧館で霞浦を一望する川魚料理の生博覧館「霞浦を一望する川魚料理の割烹旅館」銚子屋に投宿。夕食前に二階展望部屋で独吟会。最後に「半夜太田分室長、磯田常任顧問を拜聴し、つりがね草」大広間でカラオケも入り賑やかだった。朝九時半に宿を出発、翌廿日(月)朝九時半に宿を出発、舟で十二橋めぐりを楽しんだあと、稲荷山公園の野口雨情詩碑前で「船頭小唄」を合唱。潮来(前川)あやめ園を見、昼食は「長谷川」で鰻を賞味し、物産店に立寄り「二日間天候に恵まれた。帰着解散した。二日間天候に恵まれた。楽しく有意義な記念吟行会であった。



◇丸の内第一教場代々木分室
新井貴代子さん(九月入会)
渋谷区せせらぎはつらつクラブ
会場で同じ施設の教室にお誘いし
入会されました。始めての詩吟を学
んで自分のものでしたいと努力して
おられます。

◇丸の内第二教場
泰幸氏(八月入会)
八月に板橋ミチ子さんの紹介で入
会しました。病み上がり、声も出さ
ず悩んでいました。腹から声を出すこ
とは素晴らしい。声も出始め、精神
力も高まりました。ストレスも解消、病状
回復もハイペースです。毎回の練習日
が楽しみます。

◇丸の内第二教場桜ヶ丘分室
下正次氏(七月入会)
連れた山口兄から昼食のお誘いが、
規正したのには何となく、
感動し入会。理念高邁、雰囲気抜群、
味は敬遠。五十にして初めて興味を、
以後、八十五、七十、八十と新しい趣
味を。八十五、七十、八十と新しい趣
味を。八十五、七十、八十と新しい趣
味を。

◇島古義文氏(十月入会)
から古義文氏(十月入会)
から古義文氏(十月入会)
から古義文氏(十月入会)

◇東陽町教場(神楽坂分室)
久保陽介氏(十一月入会)
進んでいく所存です。詩吟を
感動を与えらる。詩吟を
え動を経験し。私めいて詩吟の魅力を
動を経験し。私めいて詩吟の魅力を
動を経験し。私めいて詩吟の魅力を
動を経験し。私めいて詩吟の魅力を

私は四四年間の議院生活を過ごし、折
て参り使用した、師と仰ぐ人が時折
漢詩を使用した、その奥深い意味合いが
何であるか、時として何かを探して
いる心の健康、心のよりどころ、そ
こに文化の直結したものが有るので
はないかと常に感じておりました。
私は今、浅学菲才の我が身に、残され
るとより、初心貫徹の心が構えて精進
し、人生、初心の精神をもって、精進
—「真善美」の精神をもつて、教場の
和を努めてまいります。宜しくご指
導をお願いたします。

渡邊 慎二氏 (六月入会)

二年程前より、菊池教場長、荒井分
室長さんから、「調布に詩吟教室を開
設、是非ご入会を」と勧められてお
りました。お二方とも同じ職場で仕
事をしたご縁、教場へお邪魔して先
生方を、会社の先輩の心よりの歓迎
頂き入会し、お世話になる事といた
しました。宜しくお願致します。

堀田 宣彌氏 (十一月入会)

以前から詩吟を学びたいと願って
おり、英世氏を紹介頂き、何人も判
津に出向きました。皆様の暖かい歓
迎を受け、宜しくご指導をお願い致し
ました。

湯浅 和美氏 (九月入会)

六十半ばを迎え、老後をどう過
すかと思案して、徳本先輩から
詩吟を紹介されました。勤務の傍ら
登山・ゴルフ・旅行等を嗜む生活に

詩吟が加わる事で、人生が豊かにな
った気がしています。中野で吟じ自
宅で吟じ、ユークチュウの吟詠を楽
しみ健康に努めたいと思ひます。
森坂 雄三氏 (十月入会)

十月から清水教場中野分室に入会
しました。森坂氏より、詩吟を吟ずると
腹式呼吸により、体の隅々まで酸素が
送り込まれるため、血液の循環が良
くなり、内蔵が活性化されるとの事
です。以上のような健康増進とスト
レス解消のため、詩吟を大いに楽し
うと思っております。

神谷 知徳氏 (二月入会)

村のカラオケ同好会で、見つけまし
た。それが神谷さんです。偶然とは
言いながら、吟の同志がこんなす
すらと得られるとは、思いもよ
く心遣いのあるやさしい紳士です。
カラオケが上手です。から吟もすぐ上
手になる事と楽しみにしています。

岡野 孝史氏 (四月入会)

三菱マテリアルOB、お酒は強く
カラオケも艶歌はバッチリであり、
お座敷タイプの方です。松戸分室の
岩瀬徹さんの紹介です。松戸分室の
詩吟は初めてのことです。が、太
声でガンガン吟じています。これか
らが楽しみです。

遠藤 晶土氏 (七月入会)

七月に酒井・加納両氏の紹介で入
会しました。遠藤晶土です。名前はマ
ニと読みます。しかし、今までは正
二と読んでくれた人はいません。確
現在には新人として大切に育てられて

おりませんが、将来は皆様のような、
暖かく後輩を指導できる先輩になれ
るよう精進いたします。
矢野 隆夫氏 (十月入会)

吉田 曉山さん (丸の内女子)

七月六日ご逝去されました。
享年七一歳。

前田 達山氏 (ハザマ)

七月八日ご逝去されました。
ハザマ教場長、総本部役員として
ご活躍されました。享年七九歳。

本多 弘風氏 (日暮里)

七月十四日ご逝去されました。
日暮里分室長としてご活躍されま
した。享年八一歳。

田村 俊夫氏 (用賀)

九月五日ご逝去されました。
享年八五歳。

中村 重山氏 (神田・休会)

十月二日ご逝去されました。
享年八七歳。

編纂後記

試練の辛卯の一年が明けました。今
年こそ明るい話題の多い年であつて欲
しいと願っています。皆様の益々の健
ご協力宜しくお願ひします。(八田)